

2018年度年末手当に関する申し入れ 第2回交渉を行う!

申9号 11月8日

その1

単体は営業収益・運輸収入、7期連続の増収!
第2四半期決算は連結・単体とも過去最高!

組合

- ・ 営業収益が堅調なのは組合員の努力があるからだ。
- ・ 配当性向が上期よりも伸びているのは、ステークホルダーに対して株主の配当が増えているからだ。社員に対しての還元も行うべきだ。
- ・ 今年は「変革2027」のスタートの年。職場も注目している。モチベーションを向上するためにも満額回答するべきだ。
- ・ 職場は休日出勤で回っているのが現実だ。その努力に報いるべきだ。
- ・ 特に、異常時には自発的に行動して、安全・安定輸送を確保している。その結果として好調な運輸収入がある。
- ・ 入社6年目以降の組合員の不満な声に応えるために、人材への投資の意味を合わせてプラス5万円を支給するべきだ。
- ・ 酷暑や災害等あるが、組合員が施策を担ってきたからこそその増収だ。

会社

- ・ 営業収益はマイナスの部分はあったが、皆さんの奮闘で7期連続の増収においつけた。安全・安定輸送を担ってもらったことを感謝している。
- ・ 5年連続でベースアップ、管理手当・扶養手当の見直し、エルダー制度の見直しで人件費が増加している。
- ・ 安定的な株主になってもらうために、会社の価値・魅力を高めていく。ステークホルダーは地域の皆さまや社員に対しても当然だ。
- ・ 労務単価の上昇やグループの労働条件向上のため、委託費が上がっている。
- ・ 手当の支給は大局的な視点で考える。JRは公共性が高く、月数や額面で見ても高い水準だ。突出感の無いようにしたい。
- ・ 費用増で減益もあるが、必要なものとして投資している。慎重に判断する。
- ・ 労使双方で議論ができた。早急に検討し、回答できるように努力する。

会社は、現場を失望させないよう
「満額回答」で応えるべきだ!

支払い能力は十分にある! 適正な評価をすべきだ!